

## ◆ 避難対象となる地区と避難先（市内避難の場合）

避難対象地区は、火口形成、溶岩流、噴石、火砕流の影響が想定される範囲をもとに区分しています。火山活動の状況によって、避難対象エリアに避難指示等を発令します。

避難対象エリア	避難対象地区(ライン名)	噴火警戒レベルと避難行動						避難場所	
		噴火前		噴火開始直後		噴火開始後			
		レベル3	レベル4	レベル5	レベル5切替	レベル5切替	レベル5切替		
第1次避難対象エリア	登山者	入山規制等	避難準備	避難				駅前交流センター(きらら)	
第2次避難対象エリア	上井出区(8,9,10) 根原区(9,10) 人穴区(9,10)		避難準備	避難				市民体育館	
	栗倉2区(6) 栗倉3区(6,7) 栗倉4区(6)			避難準備	避難			黒田小学校	
第3次避難対象エリア	猪之頭区(9,10)			避難準備	避難			東小学校	
	内野区(9,10)			避難準備	避難			大富士小学校	
	馬見塚区(8,9) 精進川上区(9,10)			避難準備	避難			大宮小学校	
	上条上区(9,10)			避難準備	避難			富士根南中学校	
	上条下区(8,9)			避難準備	避難			第一中学校	
	狩宿区(9) 芝山区(9) 半野区(9,10)			避難準備	避難			西小学校	
	北山1区(8,9)			避難準備	避難			貴船小学校	
	北山2区(7,8,9)			避難準備	避難			富士根南小学校	
	北山3区(7,8)			避難準備	避難			芝富小学校、芝川中学校	
	北山4区(7,8)			避難準備	避難			内房小学校	
	下条上区(9)			避難準備	避難			第二中学校	
	原区(9,10)			避難準備	避難			大富士中学校	
	富士丘区(9,10)			避難準備	避難			稲子小学校	
	村山2区(6)			避難準備	避難			第三中学校	
	山宮1区(7)			避難準備	避難			芝川公民館	
	山宮2区(6,7)			避難準備	避難			柚野小学校 柚野中学校 芝川B&G海洋センター	
	第4次A避難対象エリア	※8ページに掲載			避難準備	避難			市外へ避難
	第4次B避難対象エリア	※8ページに掲載				避難準備	避難		市外へ避難

表の見方について…噴火警戒レベル5が発表された場合、第2次避難対象エリアの地区(上井出区、根原区、人穴区)は、指定された避難場所(市民体育館)へ避難することになり、第3次避難対象エリアの地区は避難準備となります。

- 補足事項**
- 1 噴火前は、火口の位置が特定できないため、全てのラインが入山規制、避難準備及び避難対象となります。
  - 2 噴火開始直後は、火口の詳細な位置をすぐに特定できない場合があるため、第1次避難対象エリアから第3次避難対象エリアまでの必要なラインが避難対象となります。
  - 3 噴火開始後は、火口の位置が特定できるため、溶岩流の流下するラインのみが避難対象となります。
  - 4 噴火開始後の噴火警戒レベル5切替は、溶岩流の流下範囲の拡大に応じて発表されることになっています。(溶岩流が第4次A避難対象エリア、第4次B避難対象エリアの範囲に拡大して流下すると予測される際にそれぞれ切替が行われます。)
  - 5 避難行動要支援者は、避難に時間を要することから、上記の表で示した避難行動より一段階早い対応となります。

## ◆ 市外への避難

噴火の範囲が拡大し、市街地への影響が想定される場合、第4次A避難対象エリア、第4次B避難対象エリアも避難の対象となる可能性があります。その際、市内の避難先では収容が困難なため、右図のとおり県中部・西部地域への広域避難を行うこととなります。避難先、避難方法については、今後、県及び他市町と調整のうえ決定していく予定です。



市外避難者の避難先

## ◆ 降灰による影響

噴火による降灰は、農作物への被害、人体への悪影響、交通機関の麻痺など、社会生活に深刻な影響を及ぼします。また、影響範囲も非常に広域で、長期間にわたって被害が続く事もあります。1707年(宝永4年)の宝永噴火の際は、偏西風の影響により、現在の富士宮市域にはほとんど降灰がありませんでしたが、偏西風の弱い季節に大規模な噴火がおきると、富士宮市にも降灰が発生する可能性があります。



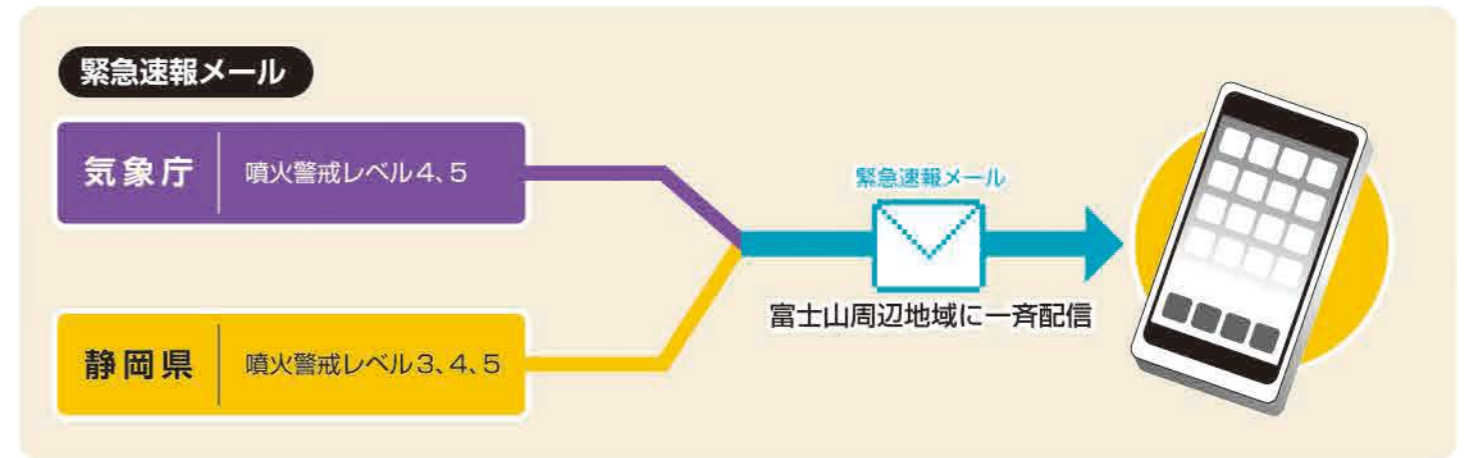
宝永噴火による影響範囲



降灰の最大影響範囲

## ◆ 噴火時の情報伝達

富士山の噴火警報については、同報無線、同報無線メール配信サービス、ホームページ、テレビのデータ放送等で伝達されます。また、気象庁や静岡県からは、噴火警戒レベルに応じて、「緊急速報メール」が携帯電話・スマートフォン等に一齐配信されます。(以下参照)



## 気象庁 火山登山者向けの情報提供ページ

[http://www.data.jma.go.jp/svd/vois/data/tokyo/STOCK/activity\\_info/map\\_0.html](http://www.data.jma.go.jp/svd/vois/data/tokyo/STOCK/activity_info/map_0.html)

気象庁では、日本全土の火山の噴火警報や噴火警戒レベルを確認できる登山者向けのホームページを公開しています。入山する場合には、事前にこれらの情報を入手しておく事をお勧めします。

## 地図上に表示される情報

噴火警戒レベル対象火山	噴火警戒レベル対象外火山	海底火山
▲ レベル5 ※ <sup>1</sup>	● 居住地域嚴重警戒 ※ <sup>1</sup>	◎ 周辺海域警戒
▲ レベル4 ※ <sup>1</sup>	● 入山危険	◎ 活火山であることに留意 ※ <sup>2</sup>
▲ レベル3	● 火口周辺危険	
▲ レベル2	○ 活火山であることに留意 ※ <sup>2</sup>	
△ レベル1 ※ <sup>2</sup>		

※<sup>1</sup> 特別警報に位置づけられています。  
 ※<sup>2</sup> 1週間以内に以下の情報を発表した火山は表示します。  
 ・火山の状況に関する解説情報 ・臨時に発表する火山活動解説資料  
 火山登山者向けの情報提供ページは更新に最大10分程度、時間を要することがあります。



※平成30年3月末日